

教育課程委員会公開講座

広島文化学園大学看護学部公開講座報告 ——一人一人の命は尊い——世界を回って考えたこと——

広島文化学園大学看護学部教育課程委員会

前信由美 進藤美樹 藤原 隆 迫田千加子 佐藤敦子
山田晃子 藤本和恵 奥田鈴美 大浜恵美子 佐々木由紀

令和元年度広島文化学園大学主催公開講座(いのちの講座)は、呉市共催のもとに以下のごとく開催された。

1. 日時：2019(平成 29)年 10 月 18 日 (金)

音楽演奏会 13：20～13：50、講演 14：00～15：30

2. 場所：くれ絆ホール

対象：本学学生・地域住民・病院関係者 一般 80 名、教職員 50 名、学生 400 名、合計 530 名。

3. 講師 前駐エチオピア特命全権大使 泉 堅二郎 先生

講演題目：一人一人の命は尊い——世界を回って考えたこと

4. 趣旨と概要

本学の教育理念である、生命に対する畏敬の念と倫理観に基づいた行動が出来る感性豊かな人間を育成すること、グローバルな視点を持ち、専門的知識と実践能力を有する看護専門職者を育成する事であり、その教育の一環として(いのちの講座)を毎年開催している。また地域貢献として公開講座を地域住民対象としている。今年度は前駐エチオピア特命全権大使・泉堅二郎先生に講師として講演していただいた。

講演内容は、講師の自己紹介から始まり、都市局、道路局、四国地方建設局、国土庁、茨城県などに勤務し海外での経験として在フィリピン大使館(昭和 53～56 年)、JICA 理事(平成 10～15 年)、駐エチオピア特命全権大使(平成 15～18)がありその中から、体験したことを踏まえて人として生まれてくるのは軌跡であり、尊い命だから大事にしなければならない、また人生は一人一人の物語であると述べられている。

世界を回ってみて感じたことは、紛争を現在もしている地域があり、失くしていくには、人間は欠点がある動物であり、自己中心、貪欲(貯め込む)、嫉妬を持つため争いは絶えたことがない。人間には 2 面性がある。一つは仲良くしようという慈悲の心と他を排除し自分が支配しようとする心である。他者に対する理解、異文化理解が必要である人は常に争うという人間の本质を理解することが必要である。また利他の心、ゆずり合い、博愛、社会、世界への積極的関与が重要である。

何故争うのかと考えてみると、必要以上に戦い殺すのは人間だけであるが、人間は社会的集団を作り生き延びてきた。このように集団(民族・宗教)を守ることが繁栄をもたらす。この新しい国際システムが国際連合、EU、AU、NATO、ASEAN である。

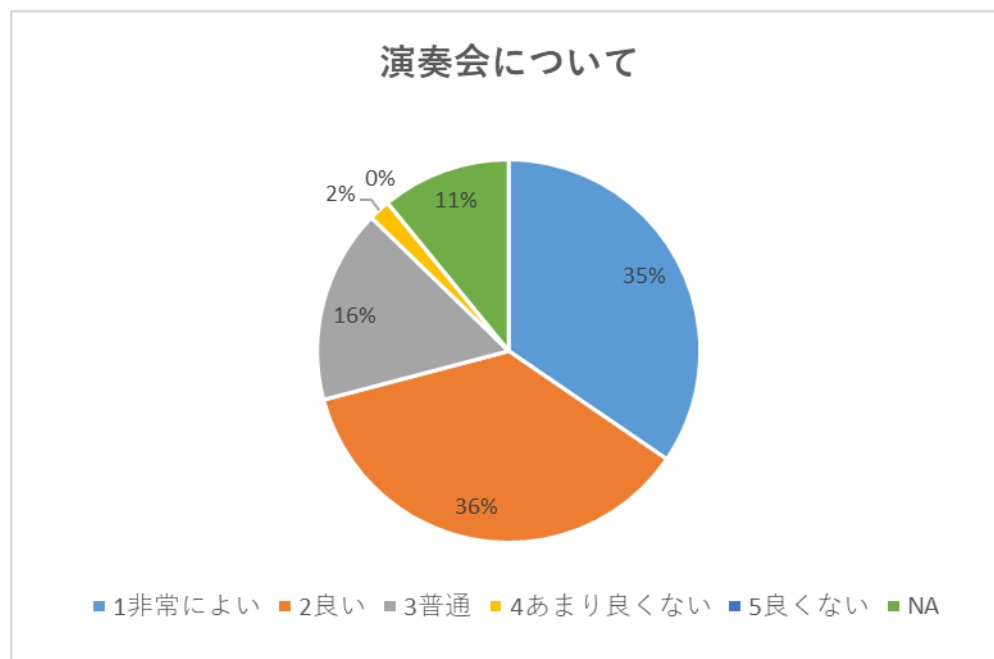
紛争の形態としては国家間の争い（二度の世界大戦）は自己崩壊につながっている。例えば冷戦の時代を経て民族国家を形成、大きな枠組みから解放され、地域紛争へ変化、民族・宗教・テロリズムなどである。

一人一人の命は尊いものであり、それを守るために安全保障がある。「人間の安全保障」とは「人間の生にとってかけがえのない中枢部分を守り、すべての人の自由と可能性を実現すること」と定義（人間の安全保障委員会）されている。通常安全保障とは国家の安全保障－軍隊、国防（national security）これに対し現実世界は、紛争、飢餓、公衆衛生など一人一人の生命にかかわる問題が数多く発生している。これらに対応するためには、暴力を伴う紛争下にある人々の保護、特に女性・児童・高齢者・障がい者・先住民、武器の拡散からの人々の保護、移動する人々の「人間の安全保障」の確保、公正な貿易と市場の発展の支援、基礎保健医療の完全普及、基礎教育の完全普及による人々の能力の強化、多様性の尊重がされる必要がある。人生は一人一人の物語であり渡辺和子（ノートルダム清心学園理事長）の言葉にもあるように「置かれたところで咲きなさい」というように、一生懸命取り組むという姿勢が重要である。

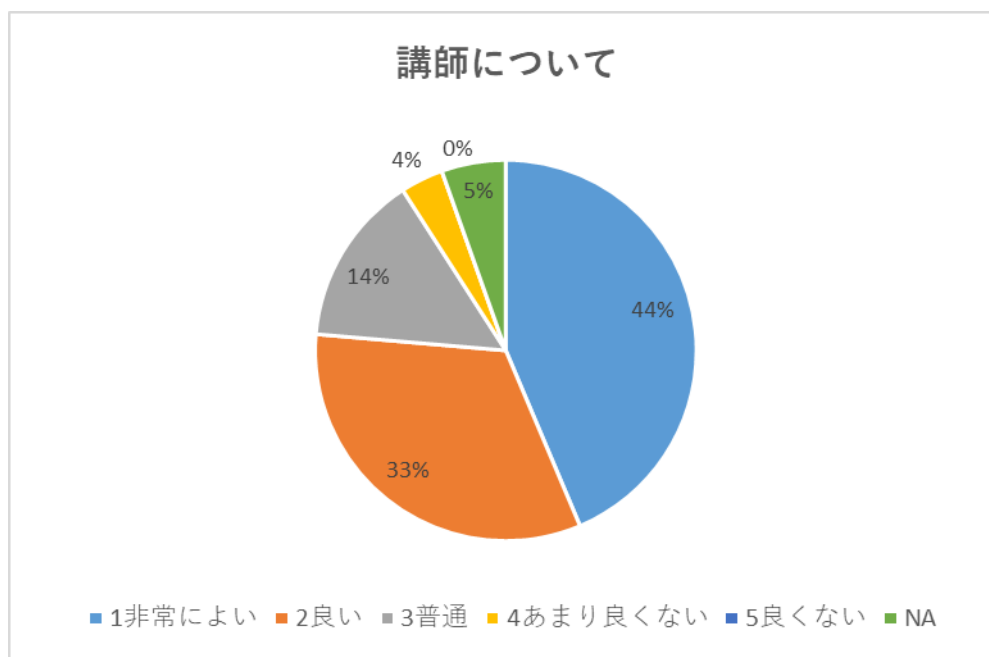
5. アンケート結果

【講演に対する感想】

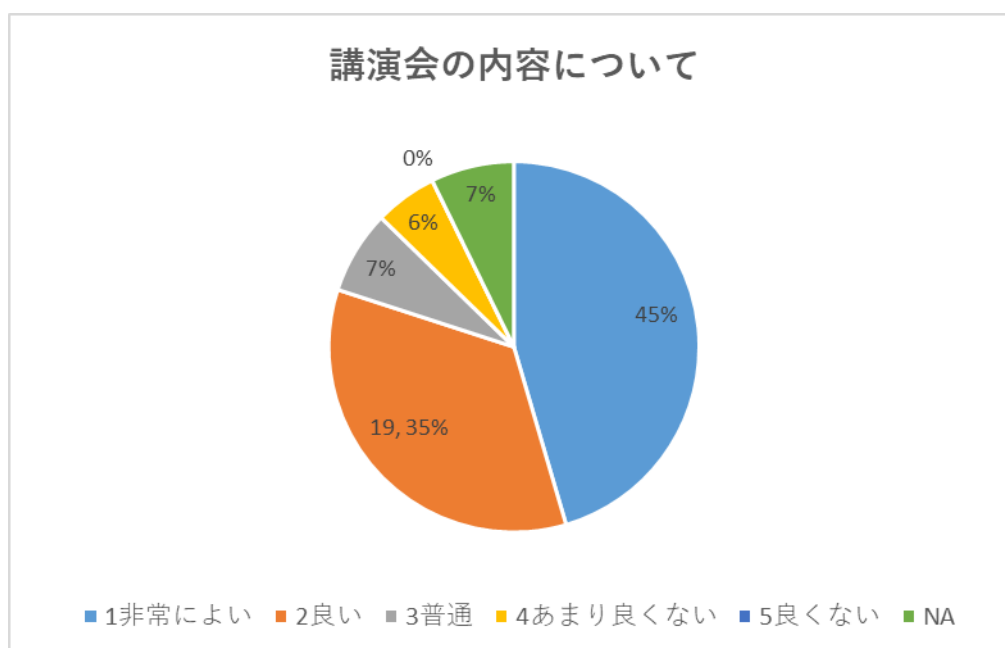
1. 演奏会についてお聞きます。



2. 講演会の講師についてお聞きします。



3. 講演会の内容についてお聞きします。



【自由記載】・・・本日の公開講座でお気づきの点

- ・講演中学生がスマホをみていることは残念だった。素晴らしい講演でした。
 - ・若者と身近に接することができて考えさせられることが多かった。若者にのびのびと今後力を発揮してほしいと思った（共に学習できてよかった）。
 - ・受付、案内の方々の応対、とても丁寧で親切に対応してくださり感動しました。
- ホッと心なごみ演奏会も講演会も気持ちよく鑑賞、拝聴させていただきました。感謝です、ありがとうございました。
- ・講師の先生はわかりやすく丁寧にお話され本当に色々と学ぶことができ心から感謝しています。

私も JICA の支援でアフリカのマラウイに行きましたのでエチオピアのお話は興味深く拝聴しました。

・私は国境なき医師団を夫婦全力でお手伝いしております。恵まれている自分は幸せです。

エチオピアのことがよくわかりました。

・毎年案内を送っていただきありがとうございます。音楽も楽しみの一つです。

・学生対象レベルの少しくどい寒い2時間でした。19号台風下の緊張下、いらいらする気分を押さえながら・・・別の機会に味わいが深まるか・・・と気分を押さええている自分を感じ続けておりました。

・もっと世界のことを話してもらいたい、広島の話はわかっている。

・楽しい講演でした。

・生命に対する考えをしっかりともちたいと思いました。残り少ない人生ですが一日一日を有意義に生活できるように努めたいと思います。

・とても聞きやすくわかりやすい講演でした。心あたたかくなる内容でよかったです。

・テーマとかけはなれた内容が多かった。

・争いは人間の本質、他者に対する理解が必要である。

・人生は一人一人の物語、置かれたところで咲きなさい。

・めずらしい話をありがとうございました。

・最初に送っていただくときにエチオピア大使の事が書いてなかったと思うのですが、エチオピアのことを知らないままに聞いたのでよくわからなかった。聞くと色々面白かったのですが。

・私たちの体験し得ない貴重なお話を伺えありがたく思いました。

・いかに日本が恵まれていることに感謝しています。これからの人生を悔いのないように生きたいと思います。

・世界の現状を知りとても良かったです。何か世界に対して貢献しなければいけないなと思いました。

・内容が漠然としていてつかみにくいものであった。

・訪問された各国での紛争の事例、解決への視点等がもう少し聞けたらよかったと思います。

・案内の時と会場の名前が変わってわからなかった。

・滑舌がよくない。

・話をされる声が私にとって聞き取れやすくよかった。

・いつも広島文化学園大学の公開講座のご案内いただき感謝しています。ありがとうございました。オープン演奏会オックスフォード行進曲は厳粛な気持ちと迫力あり感動しました。泉先生の講演は置かれた所で一生懸命努力して咲きたいと思いました。

・毎回音楽演奏会を楽しみにしています。

・演奏はだれでも知っているポピュラーな曲がいいと思う。

・トランペットがとてもよかった。

【自由記載】・・・今後希望する講座について

・認知症とその家族の対応の仕方について

・命の大切さを再認識できるような話を聞きたい

- ・人生について
- ・介護ホームの選び方
- ・公開講座は市民のためにとてもありがたいです。
- ・後期高齢者の入口に入ったばかりなのでなるべく外に出ることが必要だと思うので全部出たいと思います。でも人間なのでもしもの時はごめんなさい。
- ・アナウンサー生島ヒロシ先生の講演（世界情勢のことをよく知っておられます、今後の人生のこと、命の大切さを学びたいです）
- ・発達障害にかかわってその理解と対応、感性豊かな人としてのありよう
- ・エチオピアの首相がノーベル平和賞をもらっている。
- ・毎年参加させていただいています。一般の参加が少ないのが残念です。明日は国立病院の講演会があります。時期が重なると出席するかがむずかしいです。
- ・障がい者との協調性ある社会づくりについて具体的な例があれば
- ・命の大切さについて（生きること）
- ・偏見のない社会にするためには
- ・こうした機会が少ないので今後継続していただきたいです。
- ・春日キスヨ、下重暁子、中村泰士など元気な80代の講演
- ・がんになっても生きる、がんサバイバーの暮らしについて

【評価】

演奏会、講演とも回答者の70～80%が非常によい、よいと答えていることから満足度は高い。また、この時期は呉の祭りと重なること、公開講座や他の講演が重なっていたため一般参加者80名は妥当と考える。自由記載から地域の方が看護学部いのちの講座シリーズ公開講座と演奏会を大変楽しみにされていることがうかがえた。

今後も「いのちの講座」から本学部の教育理念である、生命に対する畏敬の念と倫理観に基づいた行動が出来る感性豊かな人間を育成すること、グローバルな視点を持ち、専門的知識と実践能力を有する看護専門職者を育成する事ができるように公開講座を開催していく事が必要である。